

冬こそ行きたい！

鳥取で温泉&カニざんまい



待望の解禁! 松葉ガニ

山陰の冬の味覚・松葉ガニが解禁になり、旅先の一番手に挙げたい鳥取県。もうすぐ真綿のような白雪をまとう季節に絶品のカニ料理を楽しみ、いで湯につかる。今回は県東部・中部・西部から、松葉ガニとともに楽しめる温泉地を紹介しよう。

鳥取県から「松葉ガニ」のプレゼントあり! (詳細は11面参照)

西部 山陰を代表する名湯・皆生(かいけ)温泉

晴れた日には中国地方最高峰の大山(だいせん)を望む、緩やかなカーブの海岸線。暮盤の目のように東西・南北を走る通りに湯宿が建ち並び、そのたたずまいは波のリズムと等しく静か。

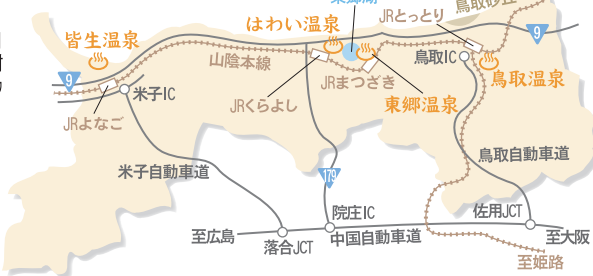
ここは鳥取県の西の端、米子市郊外にある皆生温泉。「美肌の湯」としても知られ、美肌三要素といわれるマグネシウム、硫酸塩、メタケイ酸が平均値以上というお湯は、全国でも数少ないそうです。

同温泉は大山をはじめ、「水木しげるロード」が人気の境港など、観光地も近いですが、宿泊先に到着してひと休みしたら、日の高きは雑炊も格別、カニ刺しは松葉ガニの地元・鳥取なればこそ、卵を抱えた親ガニのみそ汁は鳥取の家庭の味」とのこと。確かに、ずっしり重くてハサミが太い松葉ガニは、身がぎつしり。その味わいは推して知るべしです。



(写真右上から時計回りに) カニすき・鳥取の特産品がそろった土産店「きないや」/湯船から見る夕陽は、息をのむ美しさ/同温泉の各所に立つ案内標識/同温泉観光センターの庭先にある足湯は無料!

おなかいっぱいになった後は、再び温泉へ。水線のイカ釣り漁船のいさり火、満点の星空が一日の終わりを告げます。



鳥取砂丘イリュージョン 12月10日(土)~25日(日)に開催。今年は「希望」をテーマに、光と音で流星を演出するそうです。点灯は午後5時30分~10時。砂丘の中心「馬の背」に映像を写したり、「1000人の合唱団」などイベントを行う日もあり!!

皆生温泉一境港周遊「鬼太郎バス」 2012年1月8日(日)~3月26日(月)、皆生温泉宿泊者を対象に運行。1000円(小学生500円)。チェックアウト後、境港を巡り、JR米子駅へ送ってくれます。

往復2980円のカニバス運行! 東郷温泉・はわい温泉の宿泊者が対象。大阪発ですが、名古屋の利用者にもお勧めです。12月17日(土)~2012年3月31日(土)。除外日あり。

東部 鳥取駅から徒歩5分! 鳥取温泉

県庁所在地・鳥取市の繁華街にありながら良質な湯を楽しめるのが鳥取温泉です。風雅な旅館の他、素朴な温泉銭湯も点在。外湯巡りは同温泉のだいご味です。昼食は同市賀露町まで足を延ばしてみよう。賀露みなと観光協会の「子持ちガニの海力めし」は、漁師町ならではの味を堪能できます。源泉かけ流しの宿「こぜにや」をはじめ4旅館で運行する、「鳥取砂丘イリュージョン」に合わせた無料往復バスも見逃せません。



写真上/「子持ちガニの海力めし」は12月中楽しめる。同下/市街地にいるとは思えない優雅なひとときが過ごせる。

中部 湖畔でのんびり、東郷温泉

東郷温泉は、湯梨浜町の東郷湖に溶け入るようたたずむ温泉地。貸し切り露天など多彩な風呂が楽しめる湯宿「養生館」で掛けてもらった言葉は「とにかくのんびりするの、東郷温泉での過ごし方」。そして静かな湖畔でほお張る松葉ガニ料理はまさに格別です。温泉とカニ。ここでも冬に訪れた自分を褒めたくなるでしょう。付近には中国庭園「燕趙園(えんちようえん)」、湖を挟んで向かいには「はわい温泉」があります。



写真上/ふるぶるのカニ刺しは絶品、ぜひ味わいたい。同下/湖面に浮かんでいるような露天風呂

アクセス 【鳥取温泉】電車...JR名古屋→(新幹線)→JR姫路→(スーパーはくと)→JR鳥取(約3時間30分) 車...小牧IC→(名神高速道路→中国道)→佐用IC下車、鳥取自動車道(無料)で鳥取市街へ(約350km) 【東郷温泉】(同上)→JR鳥取→JR松崎(約4時間45分) 車...小牧IC→(名神高速道路→米子自動車道)→院庄IC下車、国道179号線で湯梨浜町へ(約370km) 【皆生温泉】電車...JR名古屋→(新幹線)→JR岡山→(やくも)→JR米子(約4時間) 車...小牧IC→(名神高速道路→米子自動車道)→米子IC下車、米子市へ(約400km) 問い合わせ 鳥取県名古屋本部(中ビル4階) 電話052-262-5411 http://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/